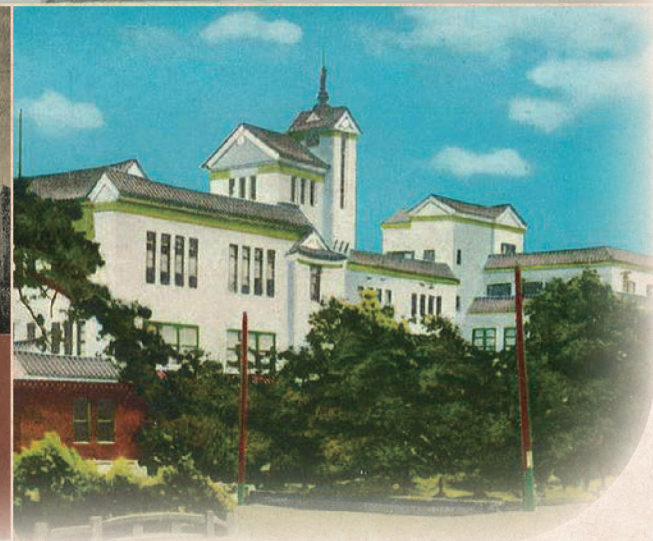
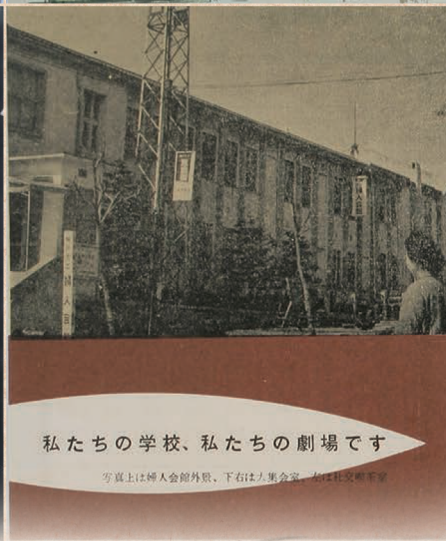
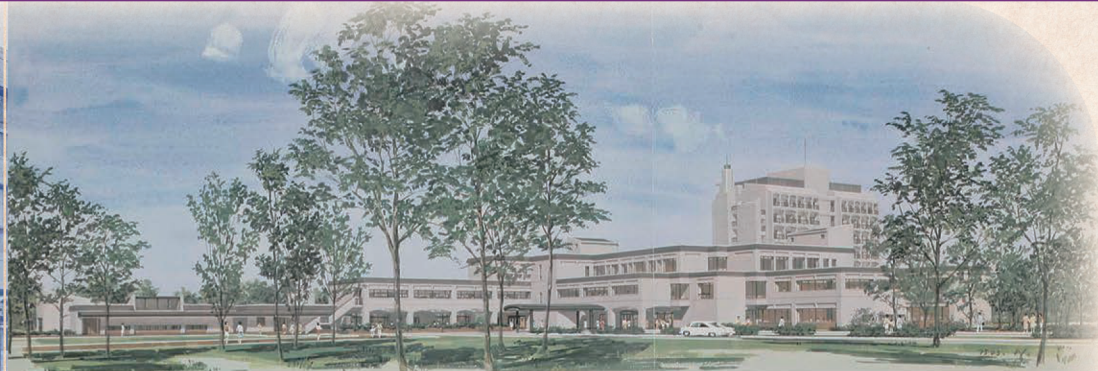


# 女性関連施設のあゆみ展

会 期

令和7年10月7日(火)～令和8年5月31日(日)



私たちの学校、私たちの劇場です

写真上は婦人会館外観、下右は九条会館、右は社会部下宿

会 場

国立女性教育会館

女性アーカイブセンター展示室(本館1階)

開室時間

9時～17時

休 室 日

会館休館日

詳細はこちらから



主 催

独立行政法人国立女性教育会館

協 力

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター、公益財団法人東京YWCA、  
公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会、  
東京ウィメンズプラザ、特定非営利活動法人全国女性会館協議会

後 援

大阪府府民文化部男女参画・府民協働課、埼玉新聞社、NHKさいたま放送局

入場  
無料



独立行政法人  
国立女性教育会館  
NWECC National Women's Education Center

〒355-0292  
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728  
<https://www.nwec.go.jp>

TEL.0493-62-6195,6661  
E-mail: [infodiv@ml.nwec.go.jp](mailto:infodiv@ml.nwec.go.jp)  
東武東上線武蔵嵐山駅徒歩12分



# 女性関連施設のあゆみ展

国立女性教育会館(以下NWEC)は、2026年4月に主管を内閣府へ移し、内閣府・文部科学省共管の新法人「男女共同参画機構」として始動することとなりました。

NWECは、学ぶ場を求める女性たちの声により、1977年文部省の附属機関として発足しました。日本の女性団体の活動拠点として設立された戦前の女性関連施設は、1886年に発足した東京婦人矯風会による慈愛館(現:矯風会館)、1915年東京YWCAによる神保町会館、1937年日本女子会館などがあります。戦後は地域婦人会が募金活動や行政の支援により各地に婦人会館を設立しました。

1975年の国際女性年、国連女性の10年、世界女性会議など女性の地位向上への国際的な後押しもあり、1970年以降には公設の女性センターが次々と設立されました。こうした女性関連施設は、現在、全国で約450施設となっています。(2025年9月現在)

NWECが新法人となる節目にあたり、女性関連施設のあゆみを振り返り、男女共同参画のさらなる推進に向けての課題を考える展示を行います。

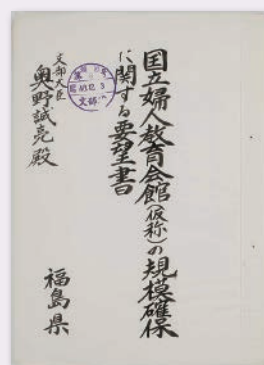
## 展示資料例



東京YWCA駿河台会館(1929年完成)と、その中に設けられた日本最初的女子専用屋内温水プールの写真(1934)



横浜市婦人会館 ごあんない  
※1927年に横浜市連合婦人会館として建てられた施設



国立婦人教育会館(仮称)規模確保要望書(1973)

表の資料 | 上段左から: 働く婦人の家のしおり(八王子働く婦人の家)、国立婦人教育会館(仮称)完成予定図  
下段左から: 働く婦人の家に看板を掛ける奥むめお、神戸市立婦人会館パンフレット、1937年竣工旧日本女子会館ハガキ

## 交通のご案内



### 電車では

会館最寄駅、武蔵嵐山駅は池袋駅から東武東上線下り急行に乗り約60分、徒歩約12分。  
■タクシー利用の場合  
武蔵嵐山駅から約5分。  
森林公園駅、小川町駅から約15分。

※東京メトロ有楽町線・副都心線と光市駅から東武東上線に乗り換えます。また、相互乗入も行っています。



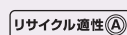
### 自動車では

関越自動車道練馬I.C.からの場合、東松山I.C.(所要時間約35分)で降り、国道254号線を西に15分、新湯方面からは嵐山小川I.C.で降り、国道254号線を東に15分。

## 独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

https://www.nwec.go.jp Tel : 0493-62-6195 Mail : infodiv@ml.nwec.go.jp



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。